

① 講義ノート

撮影の条件を変えたりして、うつろを変えたりする
アーチファクト(偽像)の軽減はできない

○放射線治療

・CTを事前に撮影して、それを見ながら照射
→ 位置が呼吸等で変わるから、正常な部分
にも照射するので、被曝リスク(高)

・CT → X線 (通しやすい所→黒, 通にくい所→白<見ぬ)

・MRI → 磁石

0.3mmの厚さで画像を作る 何千枚も撮れる

診断しやすいように画像処理する

死因究明

○犯罪見逃し防止, 医学の進歩のため

解剖率10% — 異状死の内約12%

法医学者
減少

→ 数が少ない

承諾を得ないと解剖できない

→ 家族がやってしまった場合、承諾せず死因不明になる

講義中に疑問に思ったこと、不思議に思ったことを書き留めておこう!

質疑応答では恥ずかしがらずに積極的に質問しよう!!

① 講義ノート

CT, MRI 保有率(高)

→ これを利用して死因のふるい分け

年間30万人
撮られている

AIは被ばく関係ない

→ より鮮明な画像を撮れる

解像率は高い
→ AI-CTは?

AI 撮影位置を指示するこができる

新型ロボットにも活用されている

② 本日の講義を受けての感想(どのような点が自分の進路と結びつく? 何に興味があった?)

ラジオーションハウスのI, IIも映画も観たので、今回の講義で「裏側」をたくさん聞けてとても面白かったです。

法医学者が少ない中で、CTやMRIをたくさん持っていることを上手く利用してAIをやっているのはとても良いと思いましたが、興味深かったです。

けど、観察医制度ももう少し充実すれば良いなと思いました。

* このノートは次週の水曜日までに 本田 まで 提出してください。
後日、講義を担当された先生に提出いたします。